

# 振動試験



試験場所 (財) 建材試験センター中央試験場  
試験期間 平成22年4月14日

3000N は JIS A 1450 フリーアクセスフロア  
構成材試験方法の規格による

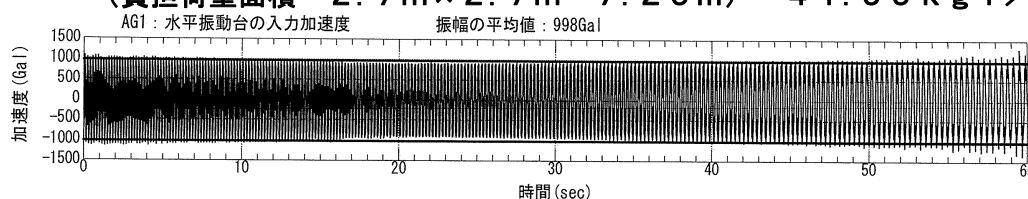
支持台9本に対してブレースを1ヶ所設置の場合  
(負担荷重面積  $2.7\text{m} \times 2.7\text{m} = 7.29\text{m}^2$ )

## 加振条件

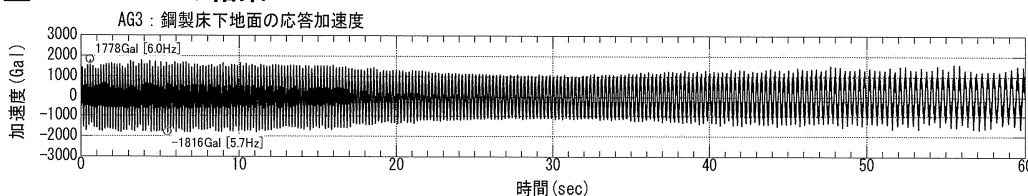
目標入力加速度 1000gal (1.0G)  
振動数範囲 6.0~2.6Hz  
加振時間 60sec  
載荷荷重 3000N 及び 6000N

# 試験結果

振動台の振動 (載荷荷重3000N)  $3000\text{N} \div 9.8 \div 306\text{kgf}$   
(負担荷重面積  $2.7\text{m} \times 2.7\text{m} = 7.29\text{m}^2$ ) =  $41.99\text{kgf/m}^2$

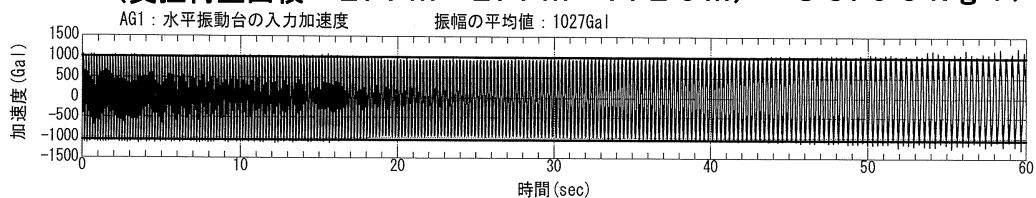


## 載荷荷重3000Nの結果

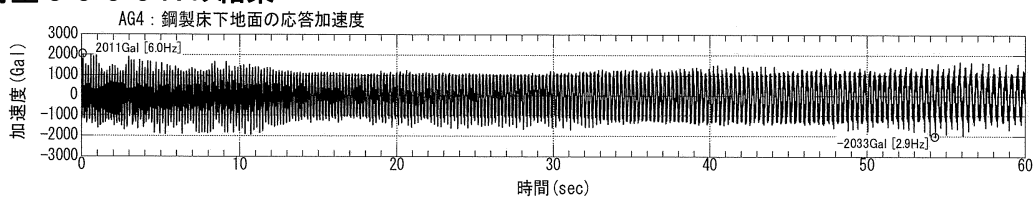


目視観察による試験体の状況 異常なし

振動台の振動 (載荷荷重6000N)  $6000\text{N} \div 9.8 \div 612\text{kgf}$   
(負担荷重面積  $2.7\text{m} \times 2.7\text{m} = 7.29\text{m}^2$ ) =  $83.95\text{kgf/m}^2$



## 載荷荷重6000Nの結果



目視観察による試験体の状況 異常なし

1ユニットの負担面積	ブレース1ヶ所当たりの支持台本数	3000Nの積載荷重	6000Nの積載荷重
$2.7 \times 2.7 = 7.29\text{m}^2$	9本	$42\text{kgf/m}^2$	$84\text{kgf/m}^2$
$2.7 \times 1.8 = 4.86\text{m}^2$	6本	$63\text{kgf/m}^2$	$126\text{kgf/m}^2$

建築基準法に規定される地震時の積載荷重 病室:  $60\text{kgf/m}^2$  事務室:  $80\text{kgf/m}^2$  教室:  $110\text{kgf/m}^2$